

---

# 14年後の日記

猫神シュー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

14年後の日記

### 【Nコード】

N1266B

### 【作者名】

猫神シュー

### 【あらすじ】

どうも、猫神シューです。今回のこの話は作者が授業で書かされた作文をそのまま投稿しました。未熟かもしれませんが頑張ってます。

11月21日 曇り

今日は、あわただしく起きたせいで髪や食事も中途半端になってしまった会社でも、上からは言われるし最悪な1日だった

特に、専務の前田には、よく怒られた。

「部長の器には適しとらん」とか

「仕事をなめているのか？」

と散々言われた。トイレで悪口ばかり言ってやった。少しスッキリした

そしたら部下にチクられた、うざかった

部長にだってなりたくなかったのに上司から

「お前はよくみんなをまとめるな！」とか

「上を目指したらどうだ？」

なんて言われたから調子にのってしまった

だか、どうだろうか？

みんなはまとめられないし上から文句ばかり言われた。

今になって部長になんて目指さなければ良かった。

そう思っていたら急に頭が痛くなってきて部下に家に帰ることを告げると専務がどこから聞き付けたのか運動不足の体を動かしながら一生懸命になって走ってきた

「もう帰るのか？」とやかましく聞いてくるのでうざくて返事だけをした。

そしたら帰って行った。

(あんたのせいで頭が痛くなったんだ、あんたのせいだ！)

家に着くと猫が出迎えてくれた

ニヤーの一言で今までの頭痛が治るようだった

けれど、やっぱり痛かった、オレはすぐにベットに入った。

ウザイ専務のことを考えていて、また会うのかと思っただらより一層  
痛みが増すようだった

夜、ふと目が覚めた

時計を見てみるともう二時を回っていた。

今後のことを考えたらもう自信がなくなってしまった。

翌日辞表を出すことを決めた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1266b/>

---

14年後の日記

2011年1月8日20時48分発行